

日本スポーツマスターズ2026石川大会

監督者会議資料

1 競技について

- (1) 本競技会は、2026年度（公財）日本水泳連盟競泳競技規則に準じて実施する。
- (2) メインプールの水深は2.0m、水温28度に設定する。
- (3) 競技は10レーンで、タイムスケジュールどおりに行い、競技順序は75歳区分から70、65、・・・30、25歳区分の順で実施する。
- (4) スタートは、オーバー・ザ・トップ方式で行う。必ず競技役員の指示に従うこと。
- (5) 退水は、横退水とする。競技役員の指示に従い、他のレーンの泳者、次の組の泳者を妨害することのないよう、またタッチ板に触れることのないよう注意すること。0～4レーンの泳者は0レーン側、5～9レーンの泳者は9レーン側へ移動し退水すること。ただし、競技役員から指示があった場合は、その指示に従うこと。
- (6) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (7) 招集は当該競技開始15分前より行う。競技に出場する場合は、必ず招集員の点呼を受けること。点呼後、無断で招集所を離れた場合、棄権と見なされる場合がある。また、招集所入口付近で水着の確認を行う。
- (8) 競技を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当該競技の開始1時間前までに必ずリゾリューションデスクに提出すること。
- (9) リレーオーダー用紙は、当該競技開始1時間前までにリゾリューションデスクに提出すること。締め切り時間に遅れた場合は出場を認めない。
- (10) 競技会において着用又は携行することができる水泳用品、用具のロゴマーク等についての取扱規程を遵守すること。
- (11) リレーオーダー届出用紙、出場辞退(棄権)届用紙は、(公財)日本水泳連盟 HP に掲載されている。ダウンロードして使用すること。

2 申告および抗議について

- (1) 以下に該当する場合、該当種目開始予定時間の1時間前までにリゾリューションデスクに申告すること。
 - ア 怪我のため、1本または2本の手の指、足の指へのテーピングを希望する場合は、「出場申告用紙」をリゾリューションデスクに提出すること。なお、審判長が実際に泳ぐ際の状態を確認するため、その状態を提示すること。（関節を固定や筋肉を補強するテープ等は不可）。
 - イ 障がいの認定を受けている方で競技規則違反になる可能性のある場合（事前に未提出の者）は、「出場申告用紙」をリゾリューションデスクに提出すること。申告内容を確認し、審判長が許可の判断を行う（診断書や障がい者手帳の提示を求める場合がある）。なお、申し込み時に申告した者で、当日再確認の連絡を受けている場合もリゾリューションデスクへお越しくください。
 - ウ 「出場申告用紙」で介助者の申請をしている場合は、プールアリーナへの介助者の入場を認める。なお、チームにて介助者の対応をし、招集所でビブスを受け取り、着用すること。介助者は招集所からスタートレーンまで付き添うことを認めるが、スタート介助はできない（一緒に水中に入ることも不可）。ゴール後も競技役員の指示を優先し介助すること。
- (2) 以下に該当する場合、競技に関する抗議をすることができる。抗議する場合は、チームの責任者が抗議書をリゾリューションデスクに提出すること。なお、競技開始前にあらかじめ予見される事項についての抗議は、審判長の競技開始の合図が発せられる前までに提出すること。競技の失格内容や状況等についての抗議は、**事象発生(通告)後30分以内**に抗議書に内容を記入し、抗議料として預かり金50,000円を添えて提出すること。

- ア 規則や競技会における規定が、順守されていなかった場合。
- イ 発生事象が、競技会の主催者や他の競技者によって引き起こされた場合。
- ウ 審判長の判断に納得できない場合。ただし、明らかな事実に対する抗議は認められない。

※ 抗議の流れ

- ① 提出された抗議書を審判長が検討し、抗議を棄却した場合、審判長が口頭で説明する。審判長の判断に異議がない場合、預かり金は主催団体が徴収する。
- ② 審判長の判断に不服がある場合、大会総務に申し立てを行う。大会総務は、抗議書の内容を踏まえ、関係した担当者等から聞き取りをした上で最終裁定を下し、その結果をチーム責任者に対して説明する。
- ③ 大会総務の最終裁定で抗議が受理された場合、従前の審判長判断は取り消され、預かり金も返却される。抗議が棄却された場合、預かり金は主催団体が徴収する。大会総務の結果は最終裁定であり、これ以降の異議は認められない。なお、チーム等により撮影された映像等は、審議の資料として採用しない。

3 競技得点等について

- (1) 各種目の年齢区分ごとに、第1位から第3位までの者にメダルを、第1位から第8位までの者に、賞状を授与する。なお、同一都道府県で3名以上参加しているときは、上位2名までをその対象とする。
- (2) 合計得点により男女総合成績上位の都道府県を表彰する。
 - ア 個人種目、リレー種目ともに、1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とし、同タイムの場合は、同順位同得点とします。
 - イ 合計得点は個人種目上位2名とリレー種目1チームの合計得点とする。
 - ウ 合計得点が同得点の場合、次のとおりとする。
 - ・リレー得点の多い方
 - ・入賞者数の多い方（リレー種目は4と計算する）
 - ・1位の数の多い方
 - ・以下8位までこれにならう
- (3) リレー種目について
 - ア リレー種目は、泳者4名の暦年齢の合計とする。なお、リレー種目への参加は79歳までとする。
 - イ リレー種目出場者は、同一リレー種目に2つ以上の年齢区分から出場できない。
 - ウ リレー種目は都道府県1チームのみとし、これ以外はオープン参加とする。

4 水着やウェア等について（詳しくは大会プログラムを参照）

- (1) World Aquatics (FINA) のマークある公認水着を使用すること。未着用者の結果は得点・順位に反映せず参考記録（オープン扱い）とする。また、この競技会は各都道府県を代表しての出場であるため、競技エリア内で着用および持ち込むものにつけられる所属名称は、それぞれが代表する都道府県の名称・マークのみとなる。マスターズチームの名称や関係のない名称・マークのついたものを着用・持ち込んだ場合は、参考記録（オープン扱い）または違反として失格とする。
- (2) World Aquatics (FINA) のマークが剥がれている場合は、メーカー名と品番を確認できる書面を招集へ持参し、提示すること。
- (3) 着用できる水着は1枚のみとし、重ね着は認められない。水着の二次加工も禁止とする。
- (4) 水着あるいは身体へのテーピングは禁止とする。
- (5) 水着およびウェア、持ち物には次の名称・マークを付けることができる。
 - ア 自分の氏名や所属チーム（県名）の名称・マーク
 - イ オリンピックや世界選手権大会等の競技会を表す名称・マーク
 - ウ 国旗・国または地域の名称（自国でなくても良い）都道府県や市町村の名称・マーク
 - エ 公式競技会及び公認競技会のシンボルマークや本連盟が認めたもの

オ 水着には、30cm²以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークをウエストより上部に1個、下部に1個付けることができる。但し、これらのメーカーのロゴマークは、相互に隣接して置くことはできない。ツーピースの水着は、上部に1個、下部に1個付けることができる。前記「ア～エ」までの所属チーム等の名称・マークの大きさに制限はないが、競泳競技の水着に付ける所属チーム等の名称・マークは50 cm²以内で1個とする。

カ ウェアには、40 cm²以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークを1個付けることができる。

キ その他持ち物には、20 cm²以内の本連盟に事前承認を得たスポンサーのロゴマークおよびメーカーのロゴマークを1個付けることができる。

ク この規則に違反していると思われるときは、大会総務や競技役員が声掛けをする。その際は直ちに、以下の方法をとること。

- ・その違反対象物を使わないようにする。
- ・テープなどを使い（水着は除く）見えないようにする。

ケ 声掛けに従わない場合は、失格・当該競技会への出場を取消・競技者登録を抹消されるなどの処分を受ける場合がある。なお、本件に関して疑問や不服がある場合は大会総務に書類で申し出ること。

5 開始式、閉会式および表彰について

(1) 開始式・閉会式では、都道府県ごとにスタンドおよびウッドデッキに着席すること。

ア 開始式は第1日目9:00から、連続出場者表彰は9:20から実施する。連続表彰対象者は、8:50までに表彰エリアに集合すること。表彰後、記念写真を撮影する。

イ 閉会式は第2日目14:50から実施する。

ウ 閉会式に参加できない都道府県は事前にリゾリレーションデスクまで申し出ること。

(2) 都道府県の男女総合得点により第1位から第8位の団体を（公財）日本水泳連盟が表彰する。全競技終了後に1位～8位の団体代表者（1名）は招集所に集合すること。男子および女子別の得点順位は発表のみとする。

(3) 各種目の年齢区分ごとの競技終了後、プールサイドにて第1位から第3位までの選手（チーム）にメダルを授与する。賞状（第1位から第8位までの入賞者）については、賞状引渡所で各競技終了後（30分以降）に受け取ること。賞状引き渡しは2日目競技終了後30分までとする。

6 施設使用上の注意

(1) ADカードは発行しない。プールアリーナへの選手・監督・コーチエリアのみ入場を認める。

(2) メインスタンドおよびウッドデッキは都道府県ごとに、ウッドデッキ2Fはブロックごとにエリアを指定している。譲り合って使用すること。

(3) プールから更衣室へ移動する際は、水気を十分に拭き取ること。

(4) 更衣室を利用する場合は、盗難に十分注意すること。なお、更衣室を控え場所としたり、食事を摂ったりすることは認めない。

(5) 館内土足禁止エリアでは、必ず室内履きに履き替えること。なお、下足を入れる袋を用意し、各自の控え場所で保管すること。

(6) 置き荷物は、忘れ物として扱う。競技会終了後、忘れ物は、金沢プールにて保管、9月2日（水）正午をもって廃棄する。

7 その他

(1) ごみは各自ですべて持ち帰ること。

(2) 盗難防止のため、貴重品の管理は各チーム・各自で確実に行うこと。

(3) 公式スタート練習で代理人による順番待ちは禁止する。

- (4) 駐車場については、大会期間中（公式練習日含む）、城北市民運動公園（金沢プール）内の駐車場を利用すること（別紙参照）。指定する駐車スペース以外に駐車することは禁止する。プール横の東駐車場は利用しないこと。バスについては、南駐車場内の大型バス専用駐車場を利用すること。大型バスのプール玄関前ロータリーへの侵入を禁止する。
- (5) 監督および責任者は選手の緊急時に備え、プログラムに記載されているけがなどの対応方法や本人以外の電話番号や氏名を確認しておくこと。
- (6) 大会終了後に、MyJSP0に登録されているメールアドレス宛に「大会アンケート」に関する案内が送付される。アンケートへのご協力、回答をお願いします。

8 コンディショニングブースについて

本大会では、日本スポーツマスターズ 2026 石川大会出場選手のために、（一社）石川県水泳協会医科学委員会のトレーナーによるコンディショニングブースを開設します。詳細は二次要項を参照ください。

9 MyJSP0 システム上の「マスターズ参加に関するプライバシーポリシー」への同意状況の確認について

日本スポーツマスターズ 2026 石川大会の参加にあたり、JSP0 より、MyJSP0 システム上にある「参加者のマスターズ参加に関するプライバシーポリシー」への同意状況について確認依頼がありました。各チームへのご連絡をお願いします。詳細は二次要項および（公財）日本水泳連盟 HP「MyJSP0 アカウント作成後のプライバシーポリシー同意マニュアル」をご確認ください。